

総合モニタリングシート

【令和 5 年度】

施設名		板谷波山記念館		
指定管理者名		公益財団法人 波山先生記念会		
実施日		令和6年6月13日	施設所管課	教育委員会美術館
区分		評価項目	評価	備考
業務の履行状況	運営業務	協定書や事業計画書に沿って適切に事業を行っている	B	
		利用者のサービス向上に向けた努力をしている	B	
		必要な知識を有した適正な人員が配置されている	B	
		運営情報の案内やホームページの管理等を適切に行っている	B	
		地元自治会や関連施設・団体等と、連携、協力、情報交換等を行っている	B	
	維持管理業務	緊急時の対応など危機管理対策が講じられている	B	
		利用者の安全確保等について対策が講じられている	B	
		苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応している	B	
		情報セキュリティ及び個人情報保護への対策が講じられている	B	
		保守管理業務を適切に行っている	B	
	自主事業	清掃業務を適切に行っている	B	
		保安警備業務を適切に行っている	B	
		外構・植栽管理業務を適切に行っている	B	
		環境衛生管理業務を適切に行っている	B	
継続性・安定性	収支状況	備品等の購入及び管理を適切に行っている	B	
		施設や備品等の補修や修繕等を適切に行っている	B	
		事業計画書に沿って適切に自主事業を実施（または計画）している	A	
		指定管理者の責任と費用負担により自主事業を実施（または計画）している	B	
総合評価		【施設所管課による評価】 令和5年度は、作品10点について美術品修復助成の採択を受けるなど、作品管理及び予算管理の両面から記念館運営に資する取組みを行っている。 施設管理の面では、清掃業務や施設の軽微な補修を適切に行っている。施設の老朽化が激しいが、指定管理者による日々の手入れによって施設内の環境が保たれている状況である。来館者からは、企画展への評価が高く、作品解説のキャプションがわかりやすいとのご意見をいただいている。一方で、展示数の少なさや葆光彩磁作品を期待する声も寄せられている。		

※評価項目に係る評価区分

- A（良好）：協定書及び仕様書等を順守し、その水準よりも優れた内容である。
- B（普通）：協定書及び仕様書等を順守し、その水準に沿った内容である。
- C（課題）：協定書及び仕様書等を順守しているが、一部に課題が見受けられる。
- D（改善）：協定書及び仕様書等を順守しておらず、改善が必要な内容である。